

TOPIC

10

白糖の漁業を学ぶ

12
5

第2回ふるさと未来塾

第2回ふるさと未来塾を開催しました。この日は、26人の児童が参加し、白糖漁協荷さばき施設で旬の海産物の特徴や漁師が使うロープワークについて学んだほか、せりの見学会が行われました。

せりの見学会では、その日に獲られたさまざまな海産物の値段が早口で読み上げられ、次々に競り落とされる様子を、子どもたちは驚いた表情で見っていました。

中塚龍信君（白糖小5年）は「値段の読み上げがすごく早くてびっくりしました」と話していました。



せりを見学する児童たち（中央）



右から高橋会長、吾妻至幸・矢幡幸徳副会長、小野正事務局長

TOPIC

11

町内飲食店の利用を求める

12
10

商工会が要望書提出

商工会は、コロナ禍により町内飲食店の利用者の減少が地域経済に深刻な影響を与えるとして、町や町内各企業団体に利用促進を求める要望書を提出しました。

この日、高橋会長をはじめ役員等4人が役場を訪れ、棚野町長に要望書を手渡しました。

高橋隆助会長は「飲食店では忘年会の予約が減り、厳しい状況。各店舗では感染対策をしているので利用をお願いしたい」と訴え、棚野町長は「少人数で利用するなど、できる範囲で対応したい」と応えました。

TOPIC

12

協力し合って歩んできた 50年を振り返る

12
12

女性ボランティアクラブ50周年式典

白糖町女性ボランティアクラブ（廣谷スマ子会長）の創立50周年記念式典が社会福祉センターで開催され、会員や関係者約60人が参加しました。

式典では、廣谷会長が「会員が協力し合ってきたからこそ、ここまで続けてこられた。今後も時代に合わせた取り組みをしていきます」と式辞を述べました。

また、白糖童謡唱歌をうたう会がお祝いの歌として「たきび」や「ふるさと」など全8曲を披露し、式典に花を添えました。



式典に花を添えた白糖童謡唱歌をうたう会